

一般質問

ここが聞きたい！

令和5年第6回町議会（定例会）の一般質問には2人の議員が登壇し、町政に対するさまざまな課題について、現状や今後の方向性を町長などに問い質しました。

一般質問とは、議員が町長や教育長などに対し、町政に関するさまざまな課題について、考えを聞いたり提案をしたりするもので、質問と答弁がかみ合うように全文通告制を採っています。

なお、再質問からは一問一答方式で行い、回数に制限なく質問時間を一議員30分以内としています。



阿部 君枝 議員 12

障がい者や高齢者に投票支援カード等の導入を



渡辺 清夏 議員 13

行政改革の取組状況について

障がい者や高齢者に

投票支援カード等の導入を

選挙管理委員長 次回の選挙から

導入を進めます

問

令和元年9月定例会で「選挙における投票環境の改善と投票率の向上について」と題し、主に高齢者のための

投票しやすい環境づくりと優しい配慮等についてや、期日前投票移動車の実施についてを一般質問しました。

今後、調査・研究に努めますとの答弁をいただいていたから4年が経過し、この間さらに高齢化が進み認知症等の方々に対する投票支援が急務な課題になっていきます。

①そこで、調査・研究の結果及び投票支援を導入することを考えているか伺います。

②令和5年1月に総務省は「障害のある方に対する投票所での対応例」を示しています。その中に

投票所の設備としてコミュニケーションボード

や投票支援カードの事例を掲載しています。

投票支援カードは、投票に際して支援が必要な場合、係員に手渡すと当事者に合わせた支援が受けられます。

またコミュニケーションボードは、投票所内で予想される困りごとや支援してほしいことを絵や文字で表示し、そこを指し示すことで、自分の意思を伝えることができるものです。

投票支援カード等を導入し、誰もが気軽に投票できる環境整備に努めるべきですので、町の考えを伺います。

答

①投票環境を向上させることは、選挙管理委員会の役割であり、これまで投票所の玄

関に簡易手すりやいす、靴ベラの設置などを行ってきました。

現在、投票所の数は、

これまで統廃合を行ってきた結果、投票日当日の投票所を12か所、また各地域に期日前投票所を設置しており、新たに自動車を使った移動期日前投票所の設置は考えていません。

②次に、「誰もが気軽に投票できる環境整備に努めるべき」については、各投票所で支援等が必要だと思われる有権者が来場した際には、積極的に声掛けをし、投票しやすい環境づくりに取り組んでいます。他の有権者の前で声掛けをされることに敬遠する場合や、うまく声に出して言えない

答

投票支援カード等は、次回選挙から導入します。その普及については、ホームページを活用するほか、投票所内でわかりやすく表示したいと考えています。

問

投票支援カード等は、次回の選挙から実施するとともに、ホームページなどで普及を図るべきと考えますが、見解を伺います。

投票支援カード等は、ホームページを活用するほか、投票所内でわかりやすく表示したいと考えています。



あべ きみえ 議員 阿部 君枝

行政改革の取組状況について

町長～民間感覚を活用した
検討を進めている

問

昨年7月に13人の委員による行政改革推進委員会が設置され、公共施設の見直しなどを協議しているところで、各常任委員会にも経過が報告されています。公共施設については、推進委員会が検討を行う見直し対象施設を34施設と選定したうえで、施設の見学や状況を確認した

と報告を受けました。

今後は、見直し方針を決定し、町民への周知・意見募集を行う予定とありましたが、当初（令和4年7月）の説明では、令和5年8月に施設の具体的な方向性（案）を公表し、パブリックコメントを行い、9月に総括を行うスケジュールで進めると聞いていました。

そこで行政改革の効果として財政支出の抑制の見込みについてどのように考えていますか。

また、公共施設等の見直し方針の決定、町民等への周知、意見募集等のスケジュールはどこまで進んでいますか。

答

町内企業経営者、経済団体等の代表及び公募の委員により、民間の経営感覚を活用した検討を進めています。公共施設の見直しにあたっては、公共施設の耐



施設の見学や状況を確認する行政改革推進委員会の委員たち

用年数や利用状況、類似施設などを考慮して絞り込んだ34施設について、重点的に推進委員会から意見を伺っています。現在、行政改革推進本部で34施設を含む207施設について、客観的な判断基準に基づく施設の見直し評価を行っており、その結果をもとに統廃合等のシミュレーションによる財政効果の推計が可能と考えています。また、当初予定したスケジュールに遅れは生じ

ていますが、年内には地域住民、議会及び関係団体に説明・協議を行ったうえで見直し方針を決定し、持続可能な財政状況の改善に向けた、公共施設の見直しを進めます。

答

行政改革推進委員会の中においても利用のニーズや安全性等を十分に配慮して検討するようにと意見がありましたので、それらを踏まえて見直しを進めます。

問

34施設の多くが子どもたちの教育等に関わりのある施設になっていいると思いますが、遠軽町の未来を担う子どもたちが遊び、学び、のびのびと育つ環境を少しでも維持することができるような方向性が見直し方針を進めていくことは可能ですか。



わたなべ さやか 議員
渡辺 清夏